



〈現代作家アーカイヴ〉by 飯田橋文学会  
文学インタビュー第12回

# 小川洋子

(小説家)

【聞き手】江南亜美子 (書評家)

公開収録一般参加者募集のお知らせ

2017年11月9日 木

東京大学法文2号館  
2番大教室にて

(17時30分開場) 18:00-20:00

先着順・事前申し込み制・入場無料  
定員90名

【東大構成員限定 先行申込】

10月12日12時 - 10月18日12時まで  
(定員40名に達し次第締切)

【一般申込受付】

10月18日12時より (定員50名に達し次第締切)

※本イベントは、現代作家アーカイヴ構築のためのインタビュー収録を公開で行うものです。当日の様子は撮影され、映像はインターネット等で公開される予定です。映像に関する権利はすべて飯田橋文学会に帰属し、個人の映像の削除等のご依頼にはお答えできません。また、当日の質疑応答の時間は限られているため、質問の数を制限させていただく可能性がございます。以上ご了承のうえ、参加をお申し込みください。

申込ホームページ

<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/5257>



※障害がある方で会場設備等に配慮が必要な場合や、そのほか運営担当者に事前に連絡しておくべき事項等がありましたら、申込フォームにご記入ください。

※勉強会関係の学生、出版、メディア関係の方は、上記申込フォームからではなく、下記アドレスまでご連絡ください。

takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jp

…小川洋子自選の代表作

『薬指の標本』  
(1994)

『猫を抱いて象と泳ぐ』  
(2009)

『ことり』  
(2012)

※収録当日は、これらの作品を軸に作家が語りませ  
ぜひ、ご一読のうえでのご参加をお薦めします



## 飯田橋文学会〈現代作家アーカイヴ〉とは？

平野啓一郎 (作家・飯田橋文学会)

本プロジェクトでは、現在活躍中の作家を毎回一人ゲストに招き、自らの代表作を三作選んでもらった上で、創作活動の全般について、インタビューを通じて語ってもらいます。

読者にとっては、その作家の何をまず読むべきか、また作品相互をどう関連づけるべきかを知る、格好のヒントとなるでしょう。

インタビューは、公開収録によって映像化され、原則的にすべて英訳字幕を付されて、ネット上に公開されます。

国内外の多くの文学ファンにとって、貴重なアーカイヴとなることを期待しています。

お問合せ: [takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jp)